

# 北冬舎

新刊のお知らせ 2011年 夏



## 『日日草 (にちにちそう)』

著者 山本かずこ

四六判上製 212 ページ

発行 2011年7月30日

定価 2000円(税別)

発行 北冬舎

取扱い 神保町・八木書店

ISBN 978-4-903792-32-3 C0095

「マンション富士」

山本かずこ

「きみにこれを聞かせよう、そう言って、その人はたくさんあるレコードジャケットから一枚を抜き出すと、かけてくれた。その曲が、ビートルズのナンバーで、「オール・マイ・ラヴィング」だったということはあとから知ったのだけれど、その人はこれまでわたしが生きてきたなかで出会ったどの人とも違うということ、直観でわかった。／その直観は正しかった。知り合ってしまったらしくして、その人を見ていると思えば人がいた。実在の人物ではなくて、ドストエフスキーの小説『白痴』のムイシュキン侯爵なのだった。あの、無垢な部分が似ている。好きな人を喜ばせることに、汚れも打算もなんにもない。……」

激しく変容する(戦後の昭和)に生まれ、時代の渦中を真摯に生き、表現してきた女性詩人が、切なく、なつかしい(人生の一日)を丁寧書きとどめた、《時代》と《場所》が交響する、胸打つエッセイ集。

たくさんの、失ったもの、得たもの、思い出を、大切に思い出す。

「肉親が眠り 肉親が住むこの故郷の、

雨のあがった夜の道を車で走るときの

時間が過ぎていくスピードのゆるやかさと

生きている者の溜め息の深さは

嬉しい瞬間にも

哀しい瞬間にも

ずっとつながってきようまで続いてきたよう

な気がする。」

(詩「故郷」より)

### ◎目次

◇金子橋◇草◇村◇阿南市◇徳島◇黒田アパート◇  
ルノアール◇ウェートレス◇リターン・トゥ・フォー  
エヴァー◇十月十三日◇マンション富士◇渡月橋ま  
で◇入交好保氏◇田中光顕◇東京タワー◇城下町◇  
故郷◇飛行場◇妹◇インド◇一文橋◇宇高連絡線◇  
日日草◇手紙◇団欒、ほか

著者紹介 高知市に生まれる。詩集に『渡月橋まで』『思い出さないこと 忘れないこと』『いちどにどこにでも』(以上、ミッドナイト・プレス)、『リバーサイドホテル』(マガジンハウス)ほか、多数。小説に『真・将門記 桔梗一輪捧げ申し候』(ミッドナイト・プレス)、エッセイ集に『日日草』(北冬舎)

〒101-0062

東京都千代田区神田駿河台1-5-6 コト一駿河台408

Tel&Fax[03-3292-0350]

<http://hokotousya.com/>

北冬舎